

早池峰地域移入植物駆除に参加して

「令和4年度 第1回早池峰地域移入植物駆除」が令和4年6月17日(金)に行われました。早池峰地域の高山植物の保護を目的として年2回行われていて、今回はセイヨウタンポポとオオバコの駆除でした。

遠野支署を出発する時には晴れていた空も、早池峰山に近づくとつれどどん雲が多くなり、集合場所の河原の坊総合休憩所前に着くと、今にも雨が降ってきそうな肌寒い天候でした。

実施時刻になり、県南広域振興局の方の説明・指示の後、関係機関(当支署からは7名参加)、団体、ボランティアは数グループに分かれて、県道25号紫波江繋線(岳駐車場～河原の坊～小田越登山口間の沿道)の駆除作業を行いました。



かつて習ったことのあるセイヨウタンポポとニホンタンポポの違いを久しぶりに頭に入れ直して、意気揚々と出発しましたが、タンポポ自体が見当たらず、ほぼオオバコでビニール袋が重くなっていきました。

湿った土で抜き取りやすい状況ではありませんでしたが、オオバコも根が深くなかなか大変な作業だと改めて感じました。

駆除の途中で、シカが草を齧った跡を教えて頂いたり、キノコを発見したりと、歩くことにより新たな発見がありました。



作業方法の説明

約2時間の作業を終えて回収量を測ってみると、去年の25kgより少ない16.1kgと年々回収量が減ってきているようですが、これは駆除作業の成果の現れだそうです。

地道な作業が早池峰山周辺の自然を守り、それが日本の自然を守ることに繋がっていくことを願い、またそのような貴重な体験ができた事が嬉しく思える1日でした。



駆除・回収した移入植物

岩手南部森林管理署遠野支署

総務グループ 佐々木淳子、菅原雅子

業務グループ 小澤奈々、本木千博